

シロイチモジヨトウ

発生条件

夏季を高温少雨で経過した年には、9～10月頃に多発する傾向が見られる。越冬源の多い施設栽培地帯で発生が多い。



卵塊

卵は数十～百粒ずつ産み付けられ、卵塊の表面は白灰色の鱗毛で覆われる。葉裏に多い。



若齢幼虫

ふ化幼虫は集団で葉裏から食害する。表皮を残して食べるため、卵塊が産み付けられた葉は白変する。



老齢幼虫

体長約30mm。全体に淡緑色で、中齢期以降は気門線の腹縁部が桃色を呈するので、他種と区別できる。



成虫

体長12mm、開張28mm内外。夜間に飛来して産卵する。